

令和3年度第1学年進路講演会

- | | |
|-------|---|
| 1 日 時 | 令和4年2月21日（月） 11:20～12:40（80分） |
| 2 目 的 | 次年度へ向けた切り替えを促すとともに、今後の学習の見通しを持たせることで主体的に学習に向かう姿勢を身に付けさせる。 |
| 3 講 師 | 駿台予備学校 東日本教育事業部 畑迫 亮 様 |
| 4 題 名 | 難関大学を目指す心構えと2年生0学期にやるべきことについて
～模試の結果と分析を踏まえた学習計画の立て方～ |
| 5 対 象 | 第1学年生徒（274名） |
| 6 場 所 | 本校大体育館 |

○後期期末考査終了後での進路講演会の実施について

定期考査の最終日、考査終了後すぐに講演会を実施しました。1年生として最後の定期考査を終えると、すぐに2年生0学期のスタートとなります。また、3月は高校入試、春季休業等で生徒は休業日が多く、自主的・自律的な学習が求められる時期となることから、切り替えを促すとともに、今後の見通しを持たせ、主体的に学習に向かう姿勢を身に付けてほしいと考え、このタイミングでの実施としました。

高校生となっておよそ1年が経過し、既習内容も多くなってきたなかで、大学入試を意識しながら各教科の学習を行っていく必要が出てきます。大学入試の仕組みについてもしっかりと理解し、戦略的に学習を進めて行くことができるよう、進路指導部では外部から講師を招いた講演会をこの時期に企画しています。

秋田高校 進路指導部

○進路講演会の様子



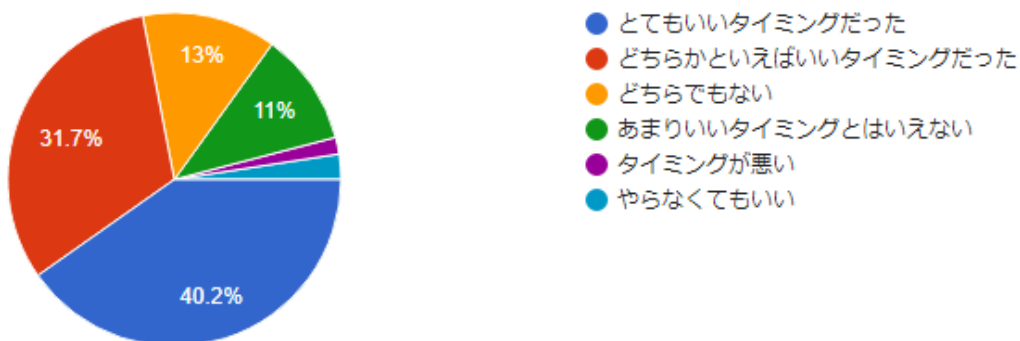
○講演者 畑迫 亮 様

1984年に駿台予備学校に入職。クラス担任・各種企画部門を担当された後、校舎長としてお茶の水各校舎では東京大学をはじめとした難関大学を志望する受験生の指導にあたられました。以降、教育事業部の責任者、全国校舎の統括本部長、学校法人駿河台学園の総務部長などを経て、現在は駿台グループ SATT 株式会社常務執行役員（学校支援事業グループ担当）を務められています。

○実施後のアンケート集計

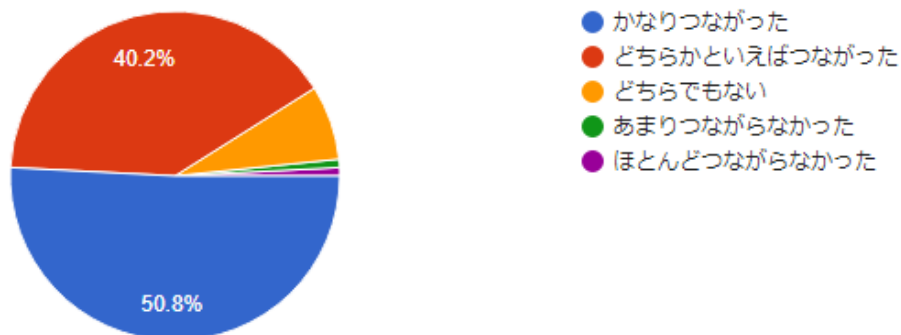
3 今回の講演は、定期考査最終日でしたが、自分にとっていいタイミングでしたか？

246 件の回答



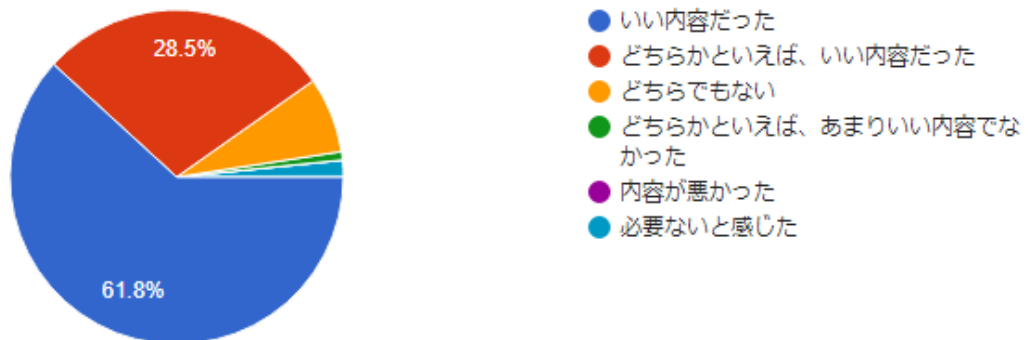
4 今回の講演は、今後の自分の進路実現に向けて、見通しを持つことに繋がりましたか？

246 件の回答



5 今回の講演（講師：畑迫亮氏）の内容はいかがでしたか？

246 件の回答



6 質問5について、講演会に参加した感想等自由に記述してください。

- ・3年生にならないと聞けないようなお話を聞くことができ、本当によかったです。特別時間割が始まる前に受験に対する気持ちを再び高めることができるいい機会になりました。このような講演会を定期的に用意してもらえると、モチベーションを維持できると思いました。
- ・いい意味で今からやらないといけないという意識にさせられた。考査が終わっても勉強を続けられるきっかけとなったのでいいタイミングだと思った。
- ・モチベーションに繋がった。そもそもわたしは志望学部がまだ定まっていなくてころころ変わることに不安を抱いているので、人一倍意識して試験の教科や時間割など色々見て、志望する大学の学部についてたくさん知っておこうと思った。
- ・最近の大学入試の情報について詳しく知ることができたのが良かった。ネットだけの情報では得られないことを教えてもらって嬉しい。
- ・考査終わって特に勉強をすることがないなあと思っていたところで、今やるべきことがあることに気付くことができた。
- ・勉強のやる気が出た。テストが終わったからと言ってだらけるのではなく24ヶ月後を見据えて小さな努力を積み重ねていきたい。
- ・考査直後で気を抜いてしまいそうなきにとっても濃くタメになる話を聞くことができた。自分の近い将来を想像し、計画を立てていくことの大切さを学んだ。
- ・最後の伸びを信じて出願することが大事だとわかりました。出願しないと絶対に受からないので弱気にならずに自分を信じ続けたいと思いました。大学受験のことについて、経験豊富な方からお話を頂ける機会は多くないのでとても参考になりました。もっと自分で大学受験のことについて考えてみようと思いました。
- ・現役生には、テスト直前まで学力が上がるという特有の現役パワーがあることを知った。また、その現役パワーをより生かすためには、より早く志望校を決めるということが必須であると知った。自分は、志望校が絞られ、確定しているため安心した。それに向けた努力を日々しているため、この一年生と二年生の間の時期をより有効活用し、自己実現につなげたいと思った。
- ・今まさに成績で悩んでいて、2年後の入試にどう向かえばいいのかわからなかったのでとても参考になった。
- ・ちょうど受験勉強を本格的に始めようとして計画を立て始めたところだったので、大切な心構えや考え方、受験の状況などを知ることができ、長い時間だったがあつという間に感じるくらいためになった。講演を聞いて志望校への思いがより一層強くなった。
- ・これからの春休み、どのように勉強していけばよいのかという見通しを立てる事ができた。

- ・第一志望合格のために必要なものは想像力だと聞いて、はじめはあまりよく分かっていなかったが、講演を聞いてその大切さがよく分かった。これからの時期は休みが多く、時間がたくさんあるので、自分の将来について想像力を働かせながら第一志望合格に向けて自分が本当に必要なことを模索していく機会を作っていきたいと思った。
- ・自分の受験を意識して危機感を覚えました。コツコツ頑張るのとはできるようになったが、計画通りに事を進めることが苦手で、手帳を使って取り組んでいるところだったので、できることはすぐやる、締切から開放される、といった言葉を聞いて良かった。
- ・私は、高校1年生になって気が緩んでしまい勉強に集中できなかった一年間であり、志望校を変更するかどうかずっと悩んでいた。だが、この講演会で、畑迫亮さんが「スタートラインは2年生」という話をしていて、私は、この0学期を生かして本気で勉強をして、2年後の25日に志望校の椅子に座れるように、現役合格をつかみ取れるように、心を入れ替えて勉学に励みたいと強く思った。
- ・大学入試が差し迫ってきていることをなんとなくではなく自覚することができたのがとても良かったと思った。自分の勉強プランをしっかり立てることが今までは全くと言っていいほど実行できていなかったもので、これを機に今日から何をやらなければならないのかを書き出し始めることができた。



※今後の見通しを持つことで、勉強のモチベーションが高まったという感想が多く、今回の講演会の目的は達成できたのではないかと思います。一方で、実施時期や内容の改善についての建設的な意見もありましたので、進路指導部で検討を重ねて、より良い講演会を実施できるようにしていきたいと考えています。

秋田高校 進路指導部